



分六寸三	コ	ヨ	紙	表
分二寸五	テ	タ		
分七寸二	コ	ヨ	粹	文
分九寸三	テ	タ	本	

月花餘情序

其殘先生ノ曰

ク。蓋シ聞ク天

ハ日月ヲ以テ枕

トシ。地ハ四海

ヲ以テ禪トス。

四結ハ解ケ易

ク。神闕ハ深ク

閉チタリ。孔子

詩ヲ刪ルヤ。關

雎之方首タリ。

宜ナル哉。君子

ヤ。小人ヤ。何

ゾ斯ノ道ニ由ル

コト莫ラン。由

ル則ハ耽ル。耽

ル則ハ恍惚トナ

ル。余曾テ江南

妓邑ノ俗ヲ見ル

月花餘情序

其殘先生曰。蓋聞天以日月為枕。地以

四海為禪。四結易解。神闕深閉。孔子刪

詩也。關雎為之首。宜哉。君子也。小人也。

何莫由斯道也。由則耽。耽則為恍惚。余

曾見江南妓邑之俗。大低有鄭衛之遺

月花餘情序

ニ。大低鄭衛ノ
遺風有リ。此ニ
由ツテ知ル其ノ
笑止。辛氣。肝
積ハ。則チ亡國
ノ音。我飲。拳
酒。無息ハ。則
チ内損ノ基。有
色ノ君子。豈夫
レ慎マザラン
ヤ。採色子傍ニ
在ツテ曰ク。是
其殘様何爲謂
乎。夫レ色ノ色
トスベキハ常ノ
色ニ非ズ。若シ
其ノ色ノ色トス
ベキコトヲ知ラ
ント欲スル者ハ

フワ^ヲ由^レ此^ニ知^ル其^ノ笑^ハ止^ム。辛^ノ氣^ハ。肝^ノ積^ハ。則^チ亡^ス國^ノ之^ヲ
音^ハ。我^ガ飲^ム。拳^ケ酒^ヲ。無^ク息^ハ。則^チ内^ニ損^ス之^ノ基^ハ。有^ル色^ノ君^子
子^ハ豈^カ夫^レ不^レ慎^ム乎^ナ。採^ル色^ノ子^ハ在^リ傍^ニ曰^ク。是^ハ其^ノ殘^ニ
様^ハ何^ニ爲^ス謂^フ乎^ナ。夫^レ色^ノ可^レ色^ニ非^ズ常^ノ色^ニ。若^シ欲^ス知^ル
其^ノ色^ノ可^レ色^ニ者^ハ非^ズ常^ノ遊^ス妓^ノ邑^ニ劇^シ場^ノ之^ノ間^ニ。則^チ
何^ニ能^ク知^ル彼^ノ其^ノ色^ノ可^レ色^ニ乎^ナ哉^ナ。月^ノ花^ノ餘^リ情^ハ成^ル

常ニ妓邑劇場ノ
 間ニ遊ブニ非ズ
 ンバ。則チ何ゾ
 能ク彼ノ其ノ色
 ノ色トスベキコ
 トヲ知ランヤ。
 月花餘情成ンヌ。
 因ツテ其ノ端ニ
 題スト云フ。
 是其殘様何爲調乎ハ
 釣リ行燈曲中ニ見ユ
 獻笑閣主人題

月花餘情序

是其殘様何爲調乎ハ
 見釣行燈曲中ニ

獻笑閣主人題

月花餘情序

此ノ書。何人ノ作ヲ知ラズ。初ニ妓邑ノ記有リ。之ニ次グニ燕喜ヲ以テス。ニ祕戲ハ即チ詩ノ閨宮ノ語也。終ニ祕戲ノ篇有リ。祕戲ハ即チ帷幄ノ裏也。於菟饒頭ノ甘キ。多良須計ノ苦キ。各其ノ味有リ。味中ノ味ニ非ズ。人口ニ膾炙スル者。豈此ノ書ニ非ズヤ。

月花餘情

此書。不知何人之作。初有妓邑記。次ニス。燕喜。即詩ノ閨宮ノ語也。終有祕戲。祕戲。即帷幄ノ裏也。於菟饒頭ノ甘キ。多良須計ノ苦キ。各有其味。非味中味。而膾炙人口者。豈非此也耶。

月花餘情

三

江南妓邑記

浪華江南有二妓邑。トノタウヤウノチ故崎陽之地。ヤタビ今屬二島内。ス其地也帶二江之雙流。サウリウヲ一長一堀。ハ一道頓堀。ハ一望二高
 津之本一社。シヤチ劇場前。マエニハツテ張。櫓高懸。木戸常喧。ノホリ幟大連。有二三歌舞
 妓。有二三操。有二三唐練。有二三見世物。終于此。初二初于彼。徘徊于其間。一者
 則男女老少坊主神主。目送者。顧阿者。呼者。應者。趨者。蹶者。
 見二三招牌一者。運二三弁當一者。衆口囂々。有二三喧嘩。有二三話。絡繹不絕。
 凡人之往來千百人。而莫有同者焉。其間有妓。通稱二白人。一於二
 妓之中。又有二三新造者。年增者。皓齒者。若詰者。異体而同。致
 有二三御所出者。有二三屋敷出者。後家出非。愧見二兩夫。尼出何得。持二
 五戒。帽子被。菅笠。則適二其宜。至三衣帶之美。與二頭上之飾。不遑二
 勝論。匿二衣服。風呂敷。日二包子。從レ妓奴輩日二廻漢。送迎必乘二駕

籠ゴニ。凡ソ畜ヤシ妓家フ。曰フ置屋ヲ。妓テ在ニ置屋ニ不レ侍ツ客ヲ。々ル來ハ三酒樓ニ。則チ使レ人ヲ至ニ置屋ニ招メ妓ヲ。凡ソ買フ妓ヲ。一ニ日一一夜一日一揚テ。如キ客ニ客ニ九ニ分一晝一夜一。買フ其一或ニ三ニ。炷ニ線ニ香ニ占ニ刻ニ。謂ニ之一。坐切ハナト。妓ハナト來レ曰フ。如キハナジンテ。アフモノ。不レ俟マ駕カ行ク矣ヲ。有リ稱スル藝ゲイ子コト者ノ上ニ。彈ヒ三ニ味一送ル。歸ル曰フ迎ヒ。如キハナジンテ。アフモノ。不レ俟マ駕カ行ク矣ヲ。有リ稱スル藝ゲイ子コト者ノ上ニ。彈ヒ三ニ味一線一。而レ佐サ酒ヲ。年ホ紀カ略カ限ニ于ニ二一八ノ前ノ後ニ。絕タ不レ薦ズ寢シ席ヲ。因テ又タ稱ス無イ色一。取ル于ニ情ジヤウ寶ワウ未モ開キ之ニ義ギ。然レ而レ今レ稱ス無イ色一者ノ。則チ無イ色一。而レ大タイ色シ也ナリ。酒樓シユロウ邦ホウ俗ソク稱ス之ニ婢ヒ。稱ス中居ナカイト。於テ其ノ選セン也ニヤ。不レ論ロ美ビ與ト醜シウ。專モツ貴ハ妖ハ態ヲ。凌ナメ茶屋チヤウ。重チ于ニ客キヤク。緒シヤ今タル麻ア前サノ垂マダ輕レ翻カ。縑シヤ分タル縐シユ子スノ帶ヲ高ビ結タカク。袖ソデ手テ振フル腰コシ于ニ世ヨ。重チ于ニ客キヤク。緒シヤ今タル麻ア前サノ垂マダ輕レ翻カ。縑シヤ分タル縐シユ子スノ帶ヲ高ビ結タカク。袖ソデ手テ振フル腰コシ甚ハナ二ハダシ於ニ轎コリモ夫フ向フ斜ハカ日ハ則チ反ヘ掌ナ。障カ影サカ。醉スイ生セイ于ニ小ハウ歌タニ曲ム。夢ム死シ于ニ淨ニ瑠カ璃カ。唯ケ酒レ無レ量ハカリ不レ及レ。亂ラン。劇ハ場チ則チ不レ欠カ二サ初シ日ニ。而レ定サ二ダム評ヒウ判バン。如キ二ニ時シ花ハ曲ク因イン循ジュン藉シヤク口ニ。中居ナカイト未モ染ソメ齒ハ者ノ。稱ス小コ女メ郎ロウ。雖レ二ニ夙ハク傲ナラフ一ヒツ。顰ヒツ首ミツ筋スサ之ノ產ウブク毛ダノ未モ除ゾカ。爪ツメ垢ノ猶アカ黑ナク。至テ二ニ其ル染ニ齒ニ。則チ婉エン妖ヨウ。異コト常ナリ。詩シ曰ク。螟メイ蛉レイ

有^リ子。螺^{クハラ}贏^{ヲフ}負^レ之。其^レ斯^レ之謂^フ乎。紋^{モンビ}日^{ハチ}則^チ不^コ移^イ子^{シノイ}所^{ハユル}謂^フ。從^{ヨリ}二^ニ子^{カド}門^{マツ}松^{ツツ}立^ツ旦^{アシタ}。
 于^ニ桃^{モモ}于^ニ柳^{ヤナギ}葺^{フク}二^ニ菖^{アヤメ}蒲^ノ。檐^{ノキノトウ}灯^{ロウ}籠^{ニドノ}二^ニ度^キ月^{グハキニ}。菊^{キク}佳^ヤ節^{トシノタレ}歲^{コレナリ}暮^ノ。是^コ矣^{ナリ}。其^レ他^ノ至^タ如^ハ二^ニ。
 彼^ヒ岸^{カン}庚^{カウ}申^{シン}之^ノ類^{ルイノ}。凡^ツ三^{サン}百^{ヒャク}六^{ロク}十^{ジュ}日^{ニチ}之^ノ間^{カン}。而^リ有^リ二^ニ百^{ヒャク}餘^{リョ}度^ド之^ノ日^{ニチ}柄^{ハカ}。噫^{アハ}夫^{ソレ}此^ノ邑^ノ之^ノ。
 華^{ハナ}也。燕^{ザキ}喜^キ之^ノ娛^{タノシキ}也。秘^ネ戲^キ之^ノ味^ミ也。遊^{ムキ}此^ノ境^{キヤウニ}。則^ス不^サ懼^{ハス}二^ニ親^{チン}父^フ之^ノ折^{セツ}檻^{カン}。
 而^リ致^イ二^ニ居^{スイツ}續^{ツケ}之^ノ長^{ナガ}。太^{タイ}鼓^コ酒^{サケ}闌^{ラン}。忘^{ワスレ}二^ニ吐^ツ血^{ケツ}之^ノ朝^{アサ}。中^{チュウ}居^キ賞^{シヤウ}頻^{ヒン}思^シ。
 釀^{アヒ}之^ノ夕^{セキ}。至^イ二^ニ間^マ夫^フ狂^{キヤウ}之^ノ手^テ段^{ダン}。通^{ツウ}二^ニ殷^{イン}勤^{キン}于^ニ格^{カク}子^シ。忍^{ニヒ}二^ニ人^{ニヒト}目^メ于^ニ檐^エ下^カ。歡^{クワン}然^{ゼン}相^{ソウ}見^{ケン}。
 私^シ情^{シヤウ}相^{アヒ}語^{カタル}。於^テ此^{ココ}也。引^{ヒキ}二^ニ替^{カヘ}寒^{カン}聲^{セイ}之^ノ昔^{ソノ}飛^ヒ雪^{セツ}。而^{ウラム}恨^ノ二^ニ野^ノ側^{ガワノ}。幽^ウ僻^{ヘキ}之^ノ地^チ。詩^シ靜^{ゼイ}。
 之^ノ書^{カキ}出^{ダシ}。食^{ハンデ}二^ニ言^{コト}于^ニ鉄^{テツ}漿^カ付^{ネツケ}之^ノ客^{キヤク}。盡^ス二^ニ情^チ于^ニ深^{フカ}間^{カン}之^ノ夫^フ。與^{ヨリ}下^ハ離^{ハナレテ}。此^ノ全^{ゼン}盛^{セイ}之^ノ邑^イ。而^{ナリ}。
 受^{ウケ}中^{ナカ}出^{ダシ}。彼^ノ江^{カウ}湖^コ千^{セン}里^リ之^ノ屋^ヤ幕^ボ作^{サクニ}上^{ムシロ}。寧^{ナラン}作^{サス}二^ニ權^{ケン}助^{シュ}三^{サン}助^{シュ}左^サ衛^{エイ}門^{メン}。
 之下^ノ嫁^カ二^ニ乎^カ。凡^{ツモ}百^{ヒャク}君^{クン}子^シ。敬^ツ而^シ聽^{キケ}之^ノ。
 花^{ハナ}曲^{キョク}中^{ナカ}之^ノ語^ゴ。

燕喜篇

〔密〕花情さんどふじや。いかふ寒いの。

〔上〕花情さんよふおいはつた。サア。

おあかりなはれ。これお久米どん。御

茶あげまさんせ。サア。御上りなはれ。

〔密〕左助さんわたししが所の。ちよと。お

尋なさつて。下さりませ。〔上〕はい

ぞや。〔密〕いかふにぎやかなの。神棚の

もてなしがよひとみへた。〔上〕ナアニお

つしやるやら。はおなつどん。花情さ

んのおいはつたぞや。〔中居〕ナ、よ

ふおいはつた。御まへ。マアせんと

は。きつう飲ましなはつたぞへ。今シ

夜は。きつとしかへしにやならぬ。

〔密〕それ。おれが知つたとか。ろしうが飲

ましたのじや。〔上〕はしやうや。これ喜八。

中の間へ大こんの塩煮出しや。ア、花情

さん。よふおいはつた。とよ。なせ奥

へやりましやらんぞいの。サア御こたつ

へ火をいりや。マア奥へおいはなはれ。〔密〕

いや／＼。今シ夜は。いなにやならぬ。

〔上〕何のこつちやいな。そして。マア

何處へおいはつた。〔密〕ちと此邊え用

があつて。〔上〕はしや。そんなよいわい

な。マアちよとおいはなはれ。つい戻しま

すわいな。ちと御咄し申事が有わいな。

はんに是。くめか。とよなと其状さし

みてたも。哥夕さんの。御象が。きで

有つた。〔中居〕アイなんじやいな。

花情さん。奥へおいはなはれといふて。

手を取。〔密〕はしや。諸ともに。いや／＼

マアちよつとおいはなはれといふて。おだ

てを塩に。〔密〕ア、御意がおもひ。然ら

ば奥へといふ露の。すつてん／＼。チャ

喜八。髪高ふゆふたな。大分能イ男じや

といふて。あたまをちよつとたく。〔密〕

何人喜八。ハアははいたものとじや。〔密〕やつ

はり我商賣で。口あい。やりおつたと。

いひ／＼。奥へ行。炬燵にもたれ状よ

む。〔上〕たばこ盆持出ん。御こたつの火

はよふござりますかへ。〔密〕ワ、よいそ

ふな。〔上〕タア申し。ろしうさんのおい

なはつて。何やらぎやうさんに。御か

んしやくで。〔密〕てきは常かんしやくじ

や。またそして飲んだであろ。エ、タア

きたら。よかつたもの。〔上〕サアタアお

いははるとよいわいな。たいていおま

へを。戀しがりなはつた事じやない。又

大びらの覆になつてな。わたしも。喜八

どんも。とんといきつてな。〔密〕そふ

であろ。よふのむやつじや。〔上〕とさ

ん持出ナ申し。哥夕さんへしらすぞへ。

〔密〕いや／＼。あの婆いやじや。〔上〕ナアニ

をつしやるやら。そんなわる口おつし

やると。告げるぞへ。〔密〕大事こざらぬ。

日からのへんがへするよりましでござ

ろ。〔上〕又やつはりわる口じやわいな。

サア一ッあがれ。〔密〕とれ一ッ飲もふか。そ

りやくめさいたぞ。くめハイおとよどん。こんなにこそ。わしやちよつと。

哥タさんの所へいてくるぞや。とよいてごんせ。密どふでもか。人身御供にとられたと思ふていよいよ。とよヨおつしやるぞ。くはしや罷出。いかふさみしい事じやナア。タさんへ。お知らせ申しやつたか。とよアイおくめどんの。いてござります。くはしや申。御まへは此間。桔梗屋えおいなはつたかへ。密ちと付合か有つて。くはしやそれにマア。よふ御寄りなさらなんだの。そして。おまへは何ぞ。悪性^{やしくさ}なんしたそふなの。タさんのきうなんして。タアわたしが所へちよつとおいなはつて。大てい腹立^{はだだ}ていなんしたことじやないぞへ。密いや。それはてきが間違ふたゆへ。付合^{くわい}合^ごに。何やら新ぞうがきたが。きつふ。酔^よていて。何じややら覺へぬ。とよいへおまへそふじやなかつ

たげな。密もふよいわい。飲^のもふじや有まいか。くはしや御てうし。なをしておじや。そして喜八に何ぞ爰でたくものしておこしやといや。とよアイ。くめ羅歸^{らき}リ。タさんおいなすぞへ。密よい事の。くはしや是くめ。あんどもひとつ持ッておじや。くめアイ。とよてうし直し持出^{しでだ}て。井手^{いであ}に養梅^{やうばい}持来^{もて}ル。しばらく呑内^{のんない}。さわくなりて。女郎^{にやう}哥^かタ来^{きた}ル座^ざに付。直にこたつへ當^{あた}たる。女郎^{にやう}おつやさん。タアは。くはしやハイたんとべきなんしたの。女郎^{にやう}アイとつとわたしや。今宵^{こんしやう}は。いかふさむいわいな。くはしやマア一ッあがれ。女郎^{にやう}アイ。又はし^{また}し^し五^ご存^{ぞん}あつて。亭主^{ていしゆ}兼^{かね}出^でル。花情^{けいじやう}さん。御出遊^{ごしゆ}しませ。密すつきりあはぬの。佐右^さ衛^ゑ門^{もん}ハイ今宵^{こんしやう}は。橘屋^{たちばな}へだいまく講^{かう}に参りましてござります。提精進酒^{ていしやうしんしゆ}はどふもゆるせでござります。壺^かッのみ直しますでござりませふ。これは。マア何ぞ御吸物^{ごしやくぶつ}出さぬかい。といふて。手をたつき。中居^{なかつ}をよ

ぶ。くめアイといふて出る。佐右^さ衛^ゑ門^{もん}こりや。喜八^{きぱち}。さいせんの雲腸^{うんちやう}を。ちよつとすましにして上ヶませいといふてこひ。提^て。マア。あがつて御覽^{ごらん}じませ。むかいの京升屋^{きやうしやう}が。此間^{このまへ}京へ。仕かへものについてゆかれまして。その土産に。若狹^{わかつ}の鰯^{いわし}の。雲わたを。けふもらひまして。御座^{ござ}ります。きつと。じまんで上ヶます。密そりやよかろ。女郎^{にやう}雲腸^{うんちやう}とは。どふやらこわいよふなものじやナア。へへへ。と。手のかうを口に當^{あた}る。くはしやわたしもあないな物^{もの}は。いや。それ申。猿^{さる}のこしかけといふもの^{もの}が有^あナ。てふどそれいな。女郎^{にやう}ッ、いや。きみのわるひもんじやナア。密ッ、きさまのこうぶつの。りうさういも程^{ほど}かわいらしいものは御座^{ござ}るまい。女郎^{にやう}ッ、にく。といふて。きせるでせなかをばん。密そりやあれは。佐右^さ衛^ゑ門^{もん}おまへにきせるでたづかれた引^ひッ、ッ、

／＼
小女郎さん料理なべに。せり
やきしても出る。くはしや

いもちようじや。爰へおこしや。とよ
ちの火なをし。火は
鍋かける。さん 何やらくはしやの耳ねぶ

くはしや、そこへいこいや。客何

ぞ。大きなものにしやうか。佐右衛門よふ

ござりましよ。これかいと云て。吸物わ

んの覆。客よかろ／＼。先はじめ給へ。

佐右衛門ハイ。北の方つぎ給へ。くはしや

よしになんせいで。だいまく酒がよ

ほどあるそふなぞへ。佐右衛門ア、そふ

いわすと。つぎめされ。ア、上かんじ

や。旦那上ケましよ。客ちよつといは

／＼か。佐右衛門南無有がたし。夕さんは

／＼かりながら。ちよつとなさつて。お

くれんか。女郎ハイついでくれなんす

な。夫より酒になる。客どふじや。ねからか

まわんな。かれいへ。よいから申。御客に

付キまして。岩田屋へいて。おりました

といふて。客のみゝねぶる。客しまい

にしておけ。かれいハイといふて。かつて

へたつ。くはしや申げいこさんなと。ち

よつとよびなんせんか。客いかさまし

め野。よびにやつてみや。もし内にい

ずば。さんごなと。くはしやハイといふ

て。たつ。佐右衛門申。ちよつと一ッけん

さんじましよか。客そしたら。此大び

らの覆にしよ。佐右衛門これはきつい。

ア、まゝよスウ。ロマ。サンナ。無手。

リヤンコ。ロマ。おはね。イツコウ。

スウ。トウライ。客サア。どふじや。

佐右衛門イヤこれはきつい。げいこしめの

来ル。客すつきりあわぬの。しめのアイ。

夕さん。さむいな。女郎アイ。かはひら

しう髪いひなんしたの。しめのこちの

お春どんの。結ふてくださつたが。ど

ふじややら。ぶらん／＼して。悪ひわい

な。とよたばこすい。おとよどん。わるい色

じやぞへ。とよ二日ゑいじやはいな。

しめの三上り哥チンシャンそでにつゝめ

と小笹のあられこばれやすさよわがな

みだツンテレ、ツトンロンともになき

つれかへるかりチンチタツツツツウ

テチリ、よそに見なして思ひこそやれ

なとや心のなかるらん。客しめ野ひとつ

のみや。しめのアイ。客小便したつ。夕さ

ん。タア新さんにあふたぞへ。女郎アイ。

わたしもハッ過にしまふて。あふたわ

いな。しめの樂しみなんすの。女郎ナン

イナ。何じややら。むしや。くしやじや

わいな。それ。せんだのナ。煙草入レの

事でな。たいてい腹立てじやないわい

な。アノ。そしておまへの所の。妻木さ

んは。やつはり文五郎さんかへ。しめの

アイ。此間は。なをしこりじやわいな。

女郎ゑいやうに。心得てくれなんせへ。

客小便を手水鉢のまへ。しめの哥うたふ。佐右衛門所

作する。しめさき。女郎茶こみつ。

くれなんせ。とよアイ。茶もつてきて。

夕さんちよつと。たいなんせ。女郎アイ

といふて。勝手へたつ。佐右衛門勝手へ

引。くめしめ野さん。仕廻なんせ。しめの
アイといふて。先ッたばこのみて。三味
線しまふ。くめはな哥にこよひあをとて
よもないかどを行つもどりつしめ野さ
ん。おまへのたばこ入。見せんんせ。
ア哥がるたにしたものじやな。天神さ
んかいな。しめなんのいな。公卿衆じ
やそふなわいな。鳥もなく。かねもひゞ
かぬ里もがな。ふたりぬる夜の。かく
れ家にせむ。くめかわいらしい哥じや
なア。しめのさばへ。密近日。くめお
しやうししめのさん。ふり袖が。ひッ
くりかへつて有わいな。しめのわしや
いやいなと。いひ／＼。勝手へはいる。
其間に。次の間に。屏風のおごく拵へ
ある。其外。枕のせめ道具有。くめ申。
ちよつと御休被成。密寐て居る。くめ
おしやうし。申。あちらへいて。御
やすみなされ。申。密ッ。ア。よ
ふた。どりや小便してろくにねよか。

くめナア。いゝなざるやら。女郎かつ
つやさん。わたしが。つゝみは。何處
にあるぞいな。くはしやそれとよ。夕さ
んの。つゝみ上ヶましや。どふじやい
な。正月の。衣裳は。大かた出来たか
へ。女郎さいな。すつきりわたしが。
思ふやうにならぬわいな。わたしや。
黒縮緬の。しろあげもやうに。しやう
といへば。こちのお熊さんが。そら色
ちりめんの。無地がよかろと。いゝな
んす。どふで。思ふやうにならぬさか
い。わたしやもふ。かまやせん程に。
どふなとなんせと。うそ腹が立たさか
い。ぐつといふたわいな。そりやそふ
じやが。花情さんに正月五日出てくれ
なんせといふてやつたが。まだ何とも
返事なんせん程に。おまへも。そふい
ふて。くれなんせ。くはしやアイ。わたし
も。そふ申そふほどに。おまへも。そ
ふいゝなんせ。そして。おまへは。い

つが勝手じやへ。女郎まちなんせやと
いふて。鏡袋よりのべの疊帳取出し。
こうつ。マア。五日と。九日と。十三日
と。十七日と。廿三日とが。わたしが。
勝手じやわいな。くはしやもつとよい日
を出なんせ。そりや。おまへ。悪い日。
ばかりじやぞへ。女郎さいな。それも
まだ。どふなとするわいな。マアおまへ
も。そふいふてくれなんせ。くはしや
アイ。マア。奥へ行なんせ。まゝ上りな
んせむか。女郎いゑまゝは嫌じやが。
ちや／＼一ツをこしてくれなんせ。塩
いれてへ。そしてわたしが所の。源七
が。見へたら。たばこ持ッておじやと。
いふておくれなんせ。といひ／＼屏風
の内へ。

秘戲篇

此ノ篇。蓋シ帷
幄ノ事ヲ記ス。
而シテ今ハ亡ビ
タリ。惜シイ
哉。惜シイ哉。

秘戲篇

此篇蓋シ帷幄ノ事
而今^ハ亡^{タリ}矣。惜哉。惜哉。